

地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
 - (1) 一人ひとりの尊重
 - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
 - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
 - (4) 安心と安全を支える支援
 - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
 - (1) 居心地のよい環境づくり
 - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

V. サービスの成果

※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 グループホーム なごみの里

ユニット名 なごみの里

自己評価実施年月日 平成 20 年 1 月 1 日

記録者氏名 栗田 和加子

記録年月日 平成 20 年 1 月 5 日

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所としての運営方針はあるものの、事業所独自の理念といえるものがなく現在、検討中である	○	事業所独自(地域密着型サービス)の理念の決定
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常時、同じ目的意識を持ち業務を行っている	○	理念決定後、明確な掲示を行う
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族に対しては、契約時に説明を行っている	○	これからも、地域行事への参加を積極的に行い、顔見知りの関係作りを徹底的に行いたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地条件上、難しい部分もあるが通勤時や散歩時等にはあいさつを行うように心がけている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	広報誌や運営推進会議などを利用し情報を集め地区行事(運動会/文化祭等の見学)への参加を行っている	○	これからも、地区行事への参加を積極的に行っていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は、入居者への支援が中心となっている		今後は、運営推進会議などを活用し事業所が地域住民として何ができるのかを見極めていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義、結果について職員会などを通じて勉強をしている。又、改善内容についても出来る限り早期に改善するように心がけているが十分に改善が出来ているとはいえない	○	今後は、改善内容について定期的に見直し、評価を行い、改善の必要性の有無について検討する機会を持つようにする
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での構成員の意見や助言を積極的に聞くようにしている。意見を基にサービス改善に生かすように心がけている。しかし、十分な会議内容とはいえない部分もあり見直しも必要と考える		意見徴集を十分に行える体制作り
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在は、運営推進会議が中心となっており、十分な連携体制が取れているとはいえない		連携体制作り
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	開所以来、今まで制度を利用したケースはないが、今後このような制度を利用される場合が出てくる事が想定される。その為、学習機会を設けた	○	特に、成年後見人制度について学習する機会を早急に持ちたい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会を通して高齢者の虐待について話し、事業所内では決して起こらないように常時、徹底を図っている	○	定期的に学習を進めるとともに、そのような研修会には積極的に参加を行う

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前後には内容等について、家族に十分に説明し、疑問点には答え、納得してもらい契約を結ぶようにしている 又、契約中も疑問点には随時答えるようにしている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は、入居者の表情や言動に注意を配り介助をさせていただくようにしている また、その中で表情(苦痛)等に変化を感じることがあれば職員間で話し合いを持つ事がある	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	緊急時など、必要に応じて連絡を行っている 又、面会時や毎月1回はホーム便りを発送し近況報告を行っている 金銭管理については、通帳のコピーを請求書と同封し確認を行っていただいている	○ 今後、ホーム便りの充実と工夫を図りたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的(家族会等)を通して意見を聞かせていただいている 又、面会時などにも随時、意見を聞かせていただくようにしている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的(職員会等)業務内容や取り組みについて見直し、検討を行うようにしている また、業務内でも職員間で取り組みについて話し合うことがある	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事時(外出等)には勤務調整を行うようにしている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>職員の異動は最少限度にとどめている 又、新規職員の十分にオリエンテーションを行い異動により混乱がないように配慮を行っている 現在まで、職員の異動があったが特に混乱があったケースはない</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> <p>職員の経験年数や希望に出来るだけ沿った研修への参加を勧め実践している 又、日常の業務の振り返りを目的で勉強会を実施した</p>	○	これからも、定期的に勉強会を実施し職員の資質向上を図りたい また、内容等を職員より希望をとり決定したい
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> <p>同法人内での研修やグループホーム同士の交流会等を行い、研修機会を多く持つようにしている</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> <p>職員の勤務中の態度や表情などに気を配るようにし、必要に応じて個別に面談を行うようにしている 又、職員会などを通して業務の見直しを随時行い、職場環境を整えるようにしている</p>	○	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>研修等は、職員それぞれの得意な(好きな)ことが生かせるように選択するようにしている 又、日ごろの業務についても職員の得意、不得意を考え業務担当を決めるようにしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族より、入居者の状況(家庭環境等)を聴くようにしている 入居直後には特に注意を配り、適宜話を聴くようにしている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族より契約にあたっての疑問点などをその都度聴き答えるようにしている	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談者より入居希望者の状況については事前に情報を得るようにしている KPの同意得た上で事前面接を行い、本人が一番必要としているサービス利用を勧めている	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は、入居当初の本人の気持ち、言動を出来る限り配慮をするように心がけている 特に、他入居者との関係には注意を配るようにと徹底を図っている 又、管理者と協議の上、家族には協力内容を十分に説明を行った上で協力を依頼することもある	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の言動、表情に特に注意を図り、介助を行うように徹底している 又、業務中に随時介助の振り返りをし、入居者の快、不快について話しを職員間で時間を設けるように心がけるようにしている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時が中心となるが、近況報告を行う中で、出来るだけ具体的に事業所より依頼させていただくように努力をしている また、定期的に家族会に合わせ外出など行事を企画し協力を募っている	○	今後は、事業所内の取り組みや支援を必要としている事柄などを家族に伝え、実践を行っていききたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	定期的に家族会に合わせ花見などの行事を企画し交流の場を設けるようにしている 又、面会時を中心に本人と家族の関係などを聞かせて頂くこともある	○	行事参加、面会者等にもやや偏りがあり、家族との交流の場をどのように提供をするのが課題となり解決方法を探りたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	特定の入居者に偏りはあるが、昔なじみの方が来られることがある	○	今後は、出来る限り入居者にとって事業所がなじみの場所、職員がなじみの人と感じていただけるように支援を行っていききたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者の日々の精神状態やADL状況に出来るだけ沿うように対応を行っている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	随時、退居先については相談に応じている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々、入居者の体調の変化に出来るだけ合わせ、日課を決定させていただくように心がけている	定期的に入居者の思いに沿った介助を行っているか見直しを行いたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、面会時等を中心に、家族より本人の生活歴、性格等の情報を集めるようにしている。又、介助中でも本人からの発言や発語等に注意を配るよう心がけている	○ 今後も、家族からの情報を集める事を継続すると共に特に、入居者からの発言を大切にしていきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々、入居者の体調の変化に出来るだけ合わせ、日課を決定させていただくように心がけている(食事時間等)	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の業務の中で気づいた点があれば、介護計画に随時、反映するようにしている。ただし、職員からの気づきである場合が多く、本人からの意見の徴集が思うように出来ていない	○ 本人の表情・行動等をより一層、確認を行い介護計画に反映させるようにしていきたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直し及び随時の計画立案を行うようにしている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者の一日の動きが分かるような個別記録を行うように日々努力を行っている	○	今後、記録方法(特に表現方法)など定期的に見直しを実施し、より個人が分かる記録を行いたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の状況(特に体調)に出来るだけ合わせ対応を行うように心がけている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	行事時(併設施設合同)や中庭の畑の世話など随時ボランティアを活用するよう努力を行うようにしている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	家族や本人の意向を踏まえた上で、他の事業所へ相談を行い、対応を行うこともある		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議時などを利用し出来る限り情報交換を行うようにしている		今後は、積極的に情報交換を行い連携を図っていききたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後はより一層、他職種と連携をとり対応を行いたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居前の情報収集を十分に行うことを心がけている 又、入居後1、2週間程は本人の精神状態の観察を十分に行うようにしている 特に混乱が強い場合はK Pに連絡をとり対応を検討するようにしている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員会などを通して個人情報の取り扱いや言葉掛け、介助方法について話しをするようにしている	○	今後も、定期的に業務の振り返りを行い業務を行っていく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者の表情や言動に気を配るように対応を十分に行うように心がけている 又、職員会などを通して業務の振り返り行っている	○	今後も、定期的に業務の振り返りを行い業務を行っていく
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ、本人のペースに合わせて行動するよう職員会等で話し合いを行い、意識統一を図るようにしている また、業務中も本人に苦痛な表情などはないか、常時チェックを行うようにしている		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	季節感、日々の気温等に注意し身だしなみを整えるようにしている 又、出来る限り本人らしい服装を心がけている 散髪については、訪問美容を利用するようにしているが、対応が困難な入居者については職員が対応することもある		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	入居者一人ひとりの力を見極め役割作りを再度行いたい
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	今後は、食事の嗜好だけではなく、飲み物なども出来る限り入居者の嗜好に合わせていきたい
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	職員会などを通して入居者のできること、できないことの見極めをもう一度行いたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者によって、金銭の管理(おこずかい程度)が可能な場合については、家族に了解を得て所持していただくようにしている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的に全体での外出は行っている 又、入居者より希望があれば出来るだけ希望に沿うように対応を心がけている また日々の日課の中に散歩、日光浴を取り入れ出来るだけ外気にふれる機会を多く持つように支援している	○	定期的な外出の継続と出来るだけ入居者の希望に沿った外出先の選択を行いたい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者からの希望があれば出来る限り個別対応するように支援させていただいている しかし、偏りがあり今後、支援方法について検討の必要性があり	○	今後、出来るだけ入居者の希望に沿った外出を行いたい
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各居室、電話が取り付け可能となっており、利用は可能である 入居者の近況については定期的にお便りを発送している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会者には、出来るだけゆっくりと過ごしていただくよう心がけ対応を行っている 必要に応じては、和室を使用していただくこともある		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会などを通して身体拘束については、話しをしている 業務中にも、細心の注意を払い対応を行うように職員に徹底している	○	今後も、定期的に職員会などの機会を利用し学習を深めていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	定期的に、基礎知識について繰り返し学習を行っていききたい
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	定期的に、救急法など繰り返し学習、実習する機会を作っていきたい
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入居者の状況については、随時、K Pに連絡し、対応方法について話し合いを行っている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申送時間を取り、入居者の日々の状況を報告を行っている 特に、体調不良者については業務内でも申し送りを行うようにしている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常時、服薬時は確認を徹底し業務にあたるように徹底している また、服薬内容の変更については随時、申し送りをし徹底するようにしている	○	現在の服薬シートは分かりづらさがあり、確認しづらい為再度、服薬シートの作成を行いたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量の確保など出来る限り日常生活に行える事を考え対応を行っている 随時、主治医、看護師などに助言をいただくようにしている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入居者、一人ひとりに合わせた口腔ケアを行っている また、異常を発見した場合は随時、歯科受診、往診を受け対応を行っている		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々、入居者の食事、水分量についてチェック表への記入し把握に努めている 入居者の嚥下状態に合わせて適宜トロミ剤を使用するようにし、水分量の確保に努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルがあり、万が一発生した場合にマニュアルにのっとり対応を徹底している	○	定期的に、感染症対策については、学習を繰り返し行いたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、ふきんなど毎日、使用するものについては、適宜ハイター消毒を行うようにしている 食材については、十分な加熱を徹底し調理を行っている 調理者についても調理前の手洗いは徹底を行っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設と併設されていることもあり、やや殺風景なところがある	○	これから、施設外の環境について再度、見直しを行いたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	随時、環境整備を行い清潔を保つように心がけている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室、職員室前ベンチなどを随時、使用していただいている 特に、和室には座イスを設置し出来るだけ多くの入居者に利用していただけるように心がけている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居前には家族に日用品の持ち込みについて説明 を行い、協力を依頼している	○	居室によって、日用品の持ち込みにばらつきがあ る為、面会時を中心に家族に協力を依頼してい きたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	常時、換気、室温調整に気を配っている 特に夏 場、冬場については細心の注意をはらい、対応し ている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	職員は出来るだけ、入居者の残存能力を引き出 しながら介助をさせていただくように心がけるよ うにしている 歩行不安体な入居者などは出来るだ け手すりを使用し生活している(安易に車イスを 使用しない)	○	入居者の残存機能の見直しを行い、対応方法に間 違いはないかを、定期的に見直しを行ってい きたい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	出来る限り、入居者の生活に支障をきたさないよ うに、掲示物を最小限とどめるようにしている 入居者の行動把握に努め必要に応じて、場所の認 識の為に目印をさせていただくこともある		
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	中庭には、畑、花壇を作っている 天気の良い日 には、庭を散策することもある		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者9名の思いを掴み、汲み取り対応することを目標に業務に取り組んでおります。決して、派手さはありませんが、職員一人ひとりの入居者に対する深い思いを感じ取っていただけたらと思います。また、中庭の畑と飼い犬もぜひごらんください。